武庫川流域委員会 委員長 松本 誠様

武庫川流域委員会委員 伊藤益義

第1回現地視察所感

いつも大変お世話になりまして誠にありがとうございます。

6月1日の第1回現地視察の所感を申し述べますのでよろしくお願いします。

1.視察全般について

武庫川全体を見渡す意味では大変いい企画でした。しかし、初めての現地視察ということでや むをえないと思いますが、大変きつい行程でした。今後は下車しての説明を増やすことが必要と 思います。問題点の把握は現場主義が必要です。

2.個別の点について

(1) 真南条川の源流

源流をバスの中から遠望するだけでは問題点の把握ができませんでした。

別途訪ねた源流は樹齢 7,80年の人工林それも水源かん養保安林が荒れ果て、林床の土は洗い流され、杉、檜の根が露出して林床の植物は見られませんでした。あの状態では平成8年水害が再発してもおかしくないと思います。水源かん養保安林のあり方を検討し、一刻も早い手入れが必要と感じました。

(2) 構造改善の農地

農業構造改善のため整然として区画された農地は3面張りの水路で囲まれて降った雨はそのまま下流へ流されるようになっていました。ため池はありますが流す水のことは知りませんというようです。河川で何とかしろということでしょうか。3面張りにしたら<u>遊水地が必要</u>と思います。

(3) 油井地区、藍本地区の河川改良工事

油井地区、藍本地区の河川改良工事の現場を見て、<u>地域の住民や工事以外の専門家の意</u>見を聞きながら試行、施工されているのは大きな進歩と感じました。今後も是非続けていってほしいと思います。

(4) 武庫川渓谷

丁度兵庫県レッドデータブックAランクのサツキが健気にも満開で私たちを迎えてくれました。まるで私たちを助けてというように。このような自然は是非守りたいと思います。

(5) リバーサイド住宅

リバーサイド住宅にも案内いただき見聞しましたが、地形的にも標高面から見てもかなり厳しいものがあります。<u>諸方策によりこの救済が急務</u>となりそうです。

(6) 宝塚マイリバー・マイタウン計画

あまりにも無機質な景観に驚きました。さらに上流までこの景観が続くと聞き、これまでに見てきた油井地区、藍本地区の河川改修とのギャップを見せ付けられました。同じ河川行政ですから、これからでも<u>住民や専門家の意見を聞き修正</u>できるものは修正が必要ではないでしょうか。

以上